

STOP超勤 ニュース②

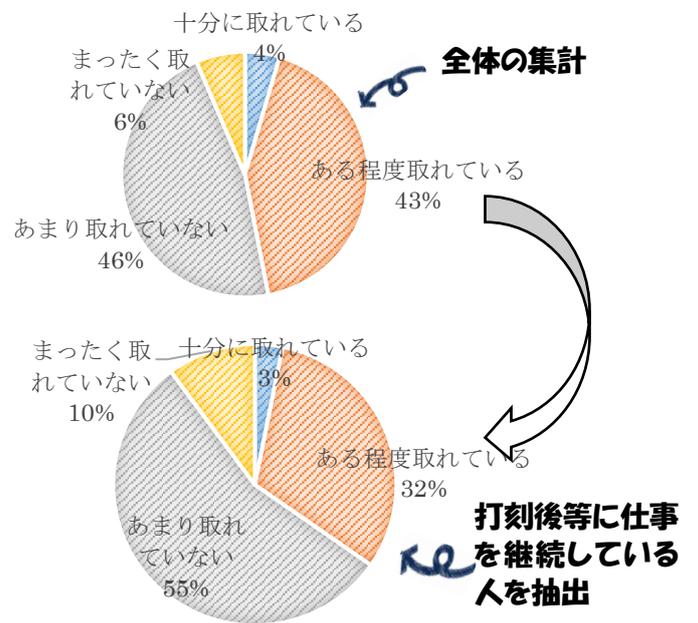


～「働き方実態アンケート」の結果から考える～

半数以上の教職員が、 授業の準備時間が「取れていない」

☆授業準備や教材研究について、「46%」が「あまり取れていない」、「6%」が「まったく取れていない」と回答しています。準備が不十分のまま、授業していると感じている教員が多数いることは、超勤実態とともに、深刻な問題です。

十分に取れている	64	4%
ある程度取れている	625	43%
あまり取れていない	677	46%
まったく取れていない	90	6%
合計	1,456	



しかも・・・

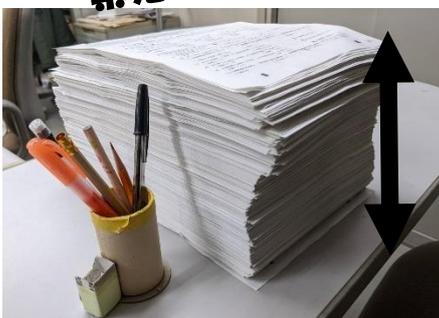
上限を超えないため、あるいは、医師との面接指導を避けるため等を理由に実態通りの出退勤記録をしていない場合、授業準備の時間が取れないと回答している割合が高くなっています。何の手立てもないまま、見かけの上限時間を守るように促すことで、授業準備の時間が削られている可能性があります。

学校現場の声

「授業をするためには、それと同じ程度の準備の時間が必要ではないかと思います。ゆとりのある授業をするためにも、職員定数の増員が急務です。」

「労働時間について指導が入るのに、事務的な仕事など児童生徒や授業に関係のない業務が多すぎる。」

大奮闘！約1600枚
緊急集会で学ぼう！



STOP 「STOP超勤 緊急集会2021」

～「働き方実態アンケート」結果から見えるもの～

12月12日（日） 13:00～15:00

全道の職場の実態

（オンライン開催）

を交流しましょう！

内容：アンケート結果について・今後の展開

ゲスト：北海学園大学 教授 川村 雅則 さん

主催 《全北海道教職員組合・北海道高等学校教職員組合》



アンケート実施主体
北海道高等学校
教職員組合
011-231-0816
全北海道
教職員組合
011-742-0101